

2021-2022 年度 東新部 部長主題・活動方針

東新部部長 松香光夫 (東京町田コスモス)

1. 部長主題： 何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない。
2. 活動方針：

現代において私たちの抱えている問題の多くは、私たち自身の高齢化と、関係者数の減少傾向によるものと言えます。だから仕方がないと諦めてしまうのではなく、その中でどうしたら良いかと考えてみましょう。多様な状況にあって、一人一人ができることは、それぞれに違いますが、私たちがつながることによって、あるいは力を合わせることによって、新しい力が出てくるのだと思います。

ワイズ発祥から 100 年を記念して、Change! 2022 運動があり、またそれぞれのクラブの創立時を思えば、例えば東京クラブでは 90 年、我がコスモスクラブでは 25 周年になりますから、それらを記念して、思い切った（アニバーサリー）声かけ運動は有効だと考えられます。

コロナ禍中において、新しい対応としてオンラインの例会が行われ、これまで身近に感じることのなかった遠隔地のワイズメンとも顔をあわせ、手を取らんばかりに感じたのは私ばかりではないでしょう。先日東新部で EMC セミナーがあった際に、発題者が合同例会を積極的に推進することで、クラブ同士の統合、あるいは少なくとも個人の他クラブへの準会員化も力になるという話題も出され、一つの道だなあと聞いたことでした。（その際に会費の優遇措置も検討すると良いかもしれません。）

おなじセミナーで、新クラブがチャーターできれば、ほぼ必然的に平均年齢が下がることになることも指摘されました。またクラブ単位の前に、70 代以上の会員が、世代の異なる（下の）候補者に呼びかけることが有効だという提案も、心しておきたいことです。

問題を分析し、何ができるかを考えて行きましょう。

その際に、ユネスコが SDGs を掲げているように、外部団体との協働もヒントになると考えています。